【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【公開番号】特開2014-238240(P2014-238240A)
【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)
【年通号数】公開・登録公報2014-070
【出願番号】特願2013-121550(P2013-121550)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｄ　25/00　(2006.01)
Ｆ２５Ｄ　25/02　(2006.01)
Ｆ２５Ｄ　23/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｄ　25/00　Ｇ
Ｆ２５Ｄ　25/02　Ｆ
Ｆ２５Ｄ　23/00　３０２Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月12日(2015.8.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明に係る冷蔵庫は、野菜室を備えた冷蔵庫本体と、野菜室の前面に設けられた引き出し式扉と共に野菜室から引き出される野菜ケースと、野菜ケースの上部に設けられ、引き出し式扉が引き出された際に野菜ケースと共に引き出され、野菜ケースに対して前後方向に移動可能な小型ケースと、小型ケースに設けられ、開閉可能な略密閉空間を構成するケースとを備え、小型ケースは、引き出し式扉が引き出されて野菜ケースと共に引き出されたときの野菜ケースに対する基準位置において野菜ケースの奥行き寸法中心より手前側に略密閉空間を構成するケースを備えているものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
野菜室を備えた冷蔵庫本体と、
前記野菜室の前面に設けられた引き出し式扉と共に前記野菜室から引き出される野菜ケースと、
前記野菜ケースの上部に設けられ、前記引き出し式扉が引き出された際に前記野菜ケースと共に引き出され、前記野菜ケースに対して前後方向に移動可能な小型ケースと、
前記小型ケースに設けられ、開閉可能な略密閉空間を構成するケースとを備え、
前記小型ケースは、前記引き出し式扉が引き出されて前記野菜ケースと共に引き出されたときの前記野菜ケースに対する基準位置において前記野菜ケースの奥行き寸法中心より手前側に前記略密閉空間を構成するケースを備えている
ことを特徴とする冷蔵庫。
【請求項２】

前記小型ケースは前記小型ケース内を前方と後方とに区切る仕切りを有し、前記仕切りは、前記小型ケースが前記野菜ケースに対して前記基準位置にある状態において前記野菜ケースの奥行き寸法中心より手前側に設けられており、前記仕切りによって区切られた前記小型ケース内の前方空間をフタで開閉可能に覆うことにより、前記略密閉空間を構成するケースが前記小型ケースに設けられている
ことを特徴とする請求項１記載の冷蔵庫。
【請求項３】
前記略密閉空間を構成するケースの底面の断面形状が、左右方向全体に亘って下に凸の半円弧状となっている
ことを特徴とする請求項１又は請求項２記載の冷蔵庫。
【請求項４】
前記フタは、後方側を支点として前方側が上下するように前記小型ケースに回動可能に連結されている
ことを特徴とする請求項２又は請求項３記載の冷蔵庫。
【請求項５】
前記フタと前記小型ケースとの連結部分は、前記フタ側と前記小型ケース側とで互いに異なる材料の部材で構成されている
ことを特徴とする請求項４記載の冷蔵庫。
【請求項６】
前記小型ケース及び前記略密閉空間を構成するケースの一方又は両方は、抗菌剤が練り込まれた材料により構成されている
ことを特徴とする請求項１～請求項５の何れか一項に記載の冷蔵庫。